

広電の100年をふりかえってみて、広電は本当に昔から多くの人に親しまれてきたんだとわかりました。それは、きくと広電がいつも広島の人のためになるように考えて原ばく係すぐ走ったり人やかんぎようにやさしい電車を作ったりしてど労してきたからなんだろうなあと思いました。わたしも今年10才になるけど、これからもどんどん進化して、わたしが年をとってもわたしの子どもや、そのまた子どもの時代まで、ずっと広島を走り続けていてほしいです。かんばれ〜広電！